

留 学 報 告 書

記入日：2011年07月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	中華民国（台湾）
留学先高等教育機関名 （和文及び現地言語）	国立台湾大学 國立台灣大學
留学期間	2010年9月～2011年7月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	1年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	社會科學院經濟學系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年07月14日
明治大学卒業予定年	2012年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月下旬～1月中旬 2学期：2月下旬～6月下旬 3学期： （記入例/1学期：4月上旬～7月下旬，2学期：9月中旬～2月上旬）
学生数	
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨（TWD）	円	備考
授業料	27,200	74,000円	言語センターの半期分授業料＋ネット使用料
宿舍費	47,000	128,000円	1ヶ月4,700TWD×10ヶ月
食費	90,000	245,000円	1日300TWD×10ヶ月
図書費	2,000	5,400円	
学用品費	1,000	2,700円	
教養娯楽費	5,000	13,600円	
被服費	5,000	13,600円	
医療費	1,000	2,700円	
保険費	44,000	120,000円	形態：治療・救済費用制限有り
渡航旅費	44,000	120,000円	
雑費	5,000	13,600円	
その他			
その他			
その他			
合計	271,200	738,600円	

渡航関連

渡航経路：往路：成田－桃園、復路：松山－羽田

渡航費用

チケットの種類	1年オープン
往路	60,000
復路	60,000
合計	120,000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

H. I. S

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

大学の宿舎（水源 BOT）

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋（同居人数1人（二人部屋））

3) 住居を探した方法：

最初の web 上の入校申請の際に申請するかしないかの選択があった。

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

寮には

A棟：女性専用、一人部屋（7,100TWD）

B棟：男性専用、一人部屋（7,100TWD）

C棟：男性・女性共用、一人部屋（？）、二人部屋（4,700TWD）、三人部屋（？）

の3種類の建物があります。各部屋にはトイレ、シャワー、冷房が設置されています。良くない点としては、暖房がないこと、お湯がぬるいことなどがありますが、各自で対応できる問題ですし、基本的にはきれいな寮なので、台湾大学に留学される方にはお勧めします！

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学内の国際事務處 (OIA)、特別な相談窓口はなかったと思います。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

特にありません。夜市に行く際にバッグや財布に気をつける程度のことだけです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

寮内、大学内共にインターネット環境はいい方だと思います。無線LANもあるので、あまり不便しないと思います。携帯電話は現地のを購入していましたが、これも特に問題ありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

前期は手持ちのお金と奨学金でまかないました。後期はキャッシュパスポートを通じて親に送金してもらい、それを両替して生活費にしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

変圧器は必要ありません。ファブリーズ、アースノーマット、湿気対策グッズなど。台湾は湿度が異常に高いので、油断するとすぐカビが生えてしまいます。到着後はできるだけ早く湿気対策をしておいた方がいいと思います。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
大学のキャリアセンター、マイナビ、リクルートエージェントなど
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
花王カスタマーマーケティング株式会社に内定をいただきました。 理由としては、花王が今後一層アジア圏への進出を考えていて、現地赴任などで中国語を活かせる可能性があること、福利厚生、社風などがあげられます。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
まず、必要以上に就職活動を意識しないことが大切です。留学というのは本当に貴重な経験ですし、留学の間は現地で得られることを出来るだけ多く吸収してくるのが就職活動に対してもプラスになってきます。特別入りたい企業がある方は留学中でも応募すべきだと思いますが、それ以外の方は、一分一秒を惜しんで様々なことにチャレンジしてみてください。面接でも留学経験者は現地の話を必ず聞かれます。その時にいかに中身のある話ができるかがポイントです。「留学をして学んだこと」というのは日頃から意識し、メモを残しておけばそのまま面接の時に使えると思います。 どんな時代であっても求人ゼロではありません。中学や高校の頃、成績で上位を取る人というのは、テストの形式や難易度に関わらず、常に上位ではありませんでしたか？それはその人の基礎がしっかり出来ているからで、そういう時ほど努力をしていない学生との差が顕著に現れやすいものです。それと同じように、本当に努力した人は、自分のやってきたことや考え方を堂々と話せば自ずと内定をいただけます。なので、そもそも就職の状況や就活本に書いてある面接のテクニックなどは気にする必要はないと私は考えています。自分が努力したかどうかで決まるという部分だけは変わることはありませんので、余計なことは考えず、留学中は留学に集中してみてください。 そして帰国する一ヶ月ほど前から就職サイト等をしっかり見て、帰国してすぐ就職活動が始められるようにする、これだけで十分だと思います。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計	
9単位		0単位	
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
日文翻譯上・下		日本語翻譯上・下	
科目設置学部・研究科	日文系（日本語学科）		
履修期間	前期・後期		
単位数	2単位・2単位		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式、グループワーク有り（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	服部美貴		
授業内容	中国語から日本語への翻訳		
試験・課題など	期末試験、課題提出有り		
感想を自由記入	この授業の特徴的なのがグループワークで、台湾人のグループに日本人が加わり、一緒に討論していきます。台湾人と交流を深める機会にもなり、メリットも多い授業だと思います。ですが、あくまでも日本語の授業なので、積極的に台湾人と討論して初めて得られるものがある授業です。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
日本近代歴史人物		日本近代歴史人物	
科目設置学部・研究科	通識（学部共通）		
履修期間	前期		
単位数	2単位		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	楊典鋤		
授業内容	日本近代において活躍した人物について		
試験・課題など	中間試験、期末試験、レポート2回		
感想を自由記入	聞き取りの練習として取った授業でしたが、内容は日本人でも知らないようなことばかりで、正直戸惑いを隠せない授業でした。基本的に先生が語り続ける授業なので、本当にただの聞き取りの練習の授業となってしまいました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
鯨豚保育学		鯨・イルカ保育学	
科目設置学部・研究科	通識（学部共通）		
履修期間	後期		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義形式、討論有り（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	周蓮香		
授業内容	鯨・イルカの生態、捕鯨や飼育の問題など		
試験・課題など	毎週小テスト、中間試験、期末レポート		
感想を自由記入	この授業は学部共通なので様々な学部の学生が受講していました。この授業で面白かったのが討論で、留学生がほとんどいない中で、台湾人と討論するのは非常に大変でしたが、その分学んだことも多い授業でした。期末レポートは全員の前でプレゼンテーションという形式でしたが、授業外にもメンバーと集まり、練習を重ねて絆も深め、良い思い出となりました。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	交換留学先が決定
4月～7月	中国語の勉強、アルバイトによる資金集め、航空券の購入
8月～9月	8月：ビザの申請、留学保険の申込み、住所転出届提出、部屋の引き払いの準備、入学前のweb登録 9月：到着後再度ビザの申請、ウェルカムパーティー、履修登録、生活必需品の調達
10月～12月	10月：言語交換のパートナー探し、中国語のレベルアップを図る 11月：中部への小旅行、寮内イベント（日本の紹介）、中間試験 12月：北部への小旅行、年越しカウントダウン花火
2011年 1月～3月	1月：期末試験、冬季休業開始 2月：南部へ1週間の旅行、旧正月、一時帰国、冬季休業終了 3月：履修登録、連休
4月～7月	4月：中間試験、“之夜”開始（学祭??） 5月：一時帰国（HSK受験）、就職セミナーへの参加 6月：期末試験、帰国準備 7月：北部・東部への旅行、帰国、就職活動開始
8月～9月	就職活動